

原町田地区



協議会ニュース

第11号
令和4年3月
発行及び発行責任者
原町田地区協議会
代表 平本 勝哉

原町田5丁目・6丁目地区「もしものマップ」完成！

令和3年度 防災事業

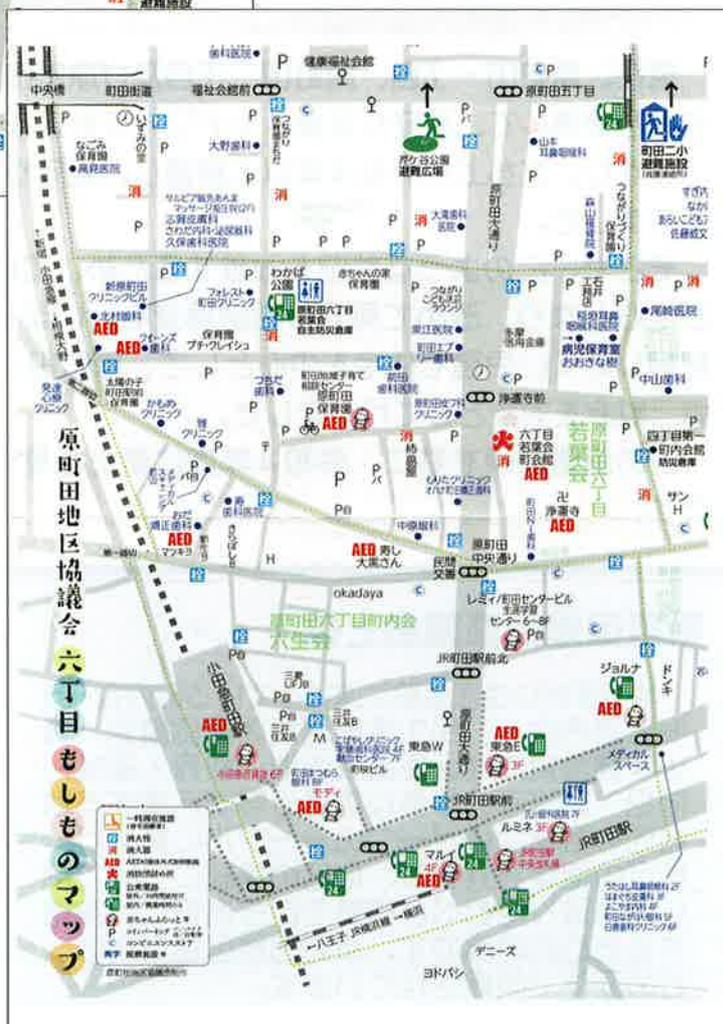


原町田地区協議会では、災害時に役に立つものや危険な場所等を書き込んだ「もしものマップ(地域防災マップ)」を作成しています。

令和2年度に原町田三丁目町内会、原町田四丁目第一町内会、原町田四丁目第二町会の3つの地区のマップを作成しました。

令和3年度は、原町田五丁目町内会、原町田六丁目町内会六生会及び原町田六丁目若葉会の3つの地区のマップを作成しました。

出来上がったマップは当該地区の町内会加入全世帯へ配布いたします。令和4年度は残りのエリアのマップを完成し、あわせて原町田1丁目から6丁目のエリアを1枚にしたマップも作成する予定です。地域や家族で防災や防犯を考える際にぜひ「もしものマップ」をご活用ください。



「セーフティボランティア」を募集しました！

令和3年度 子どもの見守り事業

原町田地区協議会は、登校時の見守りを行なっている「セーフティボランティア」の活動を実施しています。現在、15名程のセーフティボランティアが13箇所の交差点等に立って見守り活動を行っていますが、高齢化に伴い、参加者は年々減少しております。そこで、新たなセーフティボランティアを募集するため、町内会の協力をえて、募集チラシを配布しました。

皆様のご協力により新たに2名の方が見守り活動にご参加いただくことになりました。

なお、締切りが過ぎても募集はしておりますので、希望される方はお住まいの地区の町内会長までお願いします。



「見守り希望調査」を実施しました！

令和3年度 お年寄りの見守り事業

現在、原町田一丁目、原町田二丁目及び原町田四丁目の地区では、町内会と町田第一高齢者支援センターと連携して、見守り支援ネットワークを立ち上げ、お年寄りの見守り活動を行っています。

しかし、立ち上げから4年以上経過し、見守りを行っていた方の高齢化等により、活動が難しくなってきました。

そこで、このような状況を改善するため、町田第1高齢者支援センターが中心となり、改めて見守り希望調査を行いました。今回の調査は現状を把握しにくい戸建て住宅を中心として、原町田一丁目、及び原町田四丁目第二町会を対象として行いました。

この調査結果を基に、令和4年度に新たな見守り体制を立ち上げる予定です。



原町田地区協議会とは・・・

地域住民の生活全般に関わっている町内会・自治会連合会と、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育・福祉・防犯・防災等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い取り組むべき事業を自ら選択し、実施するための組織です。原町田地区協議会は、右の団体で組織されています。

原町田一丁目町内会、原町田二丁目町内会、原町田二丁目旭ヶ丘自治会、原町田三丁目町内会、原町田四丁目第一町内会、原町田四丁目第二町会、原町田五丁目町内会、原町田六丁目町内会六生会、原町田六丁目若葉会、町田市中心地区商業振興対策協議会、青少年健全育成原町田地区委員会、町田第一地区民生委員児童委員協議会、町田市老人クラブ町田支部、町田市社会福祉協議会、市立町田第二小学校、市立町田第二中学校、町田第一高齢者支援センター、(株)ジェイコム 湘南・神奈川、町田市消防団